

English Garden 第32話

"Goodbye England's Rose."
Elton John, "Candle in the Wind"

「さようなら、英国のバラよ」
エルトン・ジョン「風の中のともし火」

Your Footsteps will always fall here
Among England's greenest hills;
Your candle's burned out long before
Your legend ever will.
あなたの足音はここにいつも響いている
緑深いイングランドの丘に
あなたのともし火は燃え尽きても
あなたの思い出は永久(とわ)に生きる。

ダイアナ元英皇太子妃は 8月31日に自動車事故で衝撃的な死を遂げ、1週間後の9月6日にロンドンのウエストミンスター寺院で葬儀が行われました。生前もさまざまな話題を提供し、常にマスコミのターゲットになっていた彼女は、その死もパパラッツィ (paparazzi) に追われてという悲劇的なものでした。

冒頭に掲げたのは、葬儀の中で歌手のエルトン・ジョンが歌った鎮魂歌の一部です。この曲は1973年にマリリン・モンローに捧げられたものですが、歌詞はダイアナ元妃のために書き直されました。今回はダイアナさんに関連した言葉をいくつか紹介します。



"She was an exceptional and gifted human being."
Her Majesty Queen Elizabeth
「彼女は才能に恵まれた、たくいまれな人でした」
エリザベス女王陛下。葬儀前日のテレビ生放送で

"Of all the ironies about Diana, perhaps the greatest is this; that a girl given the name of the ancient goddess of hunting was, in the end, the most hunted person of the world."
In an eulogy by Earl Spencer, brother of Diana
「ダイアナに関していちばん皮肉なのは、古代の神話の狩猟の女神の名前を与えられた女性が、最後には現代でもっとも追われる人物になったことだ」
ダイアナ元妃の弟スペンサー伯の弔辞

"The marriage made her a star, but at a price."
"Time"
「結婚は彼女をスターにしたが、その代償は高かった」
「タイム」誌

"You were a Cinderella at the Ball and now you are a Sleeping Beauty."
"Time"
「生前あなたは舞踏会のシンデレラ、いまは眠れる森の美女」
「タイム」誌。ケンジントン宮殿の柵の外に結びつけられたバレエ・シューズの中に書かれていたもの。

"She told me never to give up because she never would."
"Newsweek"
「ダイアナさんは、私もあきらめたりしないから、あなたも決してあきらめてはだめよ、とってくれました」
「ニューズウィーク」誌。地雷で両脚を失ったボスニアの15歳の少女。

ダイアナさんは対人地雷禁止キャンペーンの一環として、アンゴラとボスニアを訪問していた。